

川崎重工業株式会社

株式会社アーステクニカ

NO.24023

2024年6月3日

## 画期的な省エネを実現した自走式破碎機「SEASER™」販売開始

川崎重工グループのアーステクニカは、画期的な省エネ性能を実現した NCD (Non-Conversion Drive) 方式の自走式破碎機「SEASER™ (Saving Energy / Advanced Safety / Environmental Recycling) (シーサー)」(以下、本機)の販売を2024年5月31日より開始しました。

本機は、建設工事を行なう際に副次的に発生するコンクリート塊やアスファルト塊を、再生骨材や再生合材としてリサイクルするための自走式破碎機で、人頭大の建設廃棄物を40mm以下に破碎することが可能です。

これまでの自走式破碎機は、油圧駆動や電動機駆動が主流でしたが、本機ではエンジンの回転出力を直接破碎機に伝達する省エネ駆動「NCD方式」を採用しました。自走式破碎機で使用する動力の中で最も大きな割合を占めるジョークラッチ※<sup>1</sup>の運転において、電気や油圧にエネルギーを変換せず直接運転することで、余計なエネルギー変換によるロスをなくし、当社比10%以上のエネルギー効率向上を実現しました。また、新たに開発したSSSクラッチ※<sup>2</sup>内蔵の新しいギアボックスを採用しており、ジョークラッチをスムーズに稼働することが可能です。

本機に搭載したジョークラッチは、2022年度に発売した鉄鋼スラグ処理専用の破碎機「AUDIS JAW™ (オーディス ジョー)」の機構を踏襲しており、出口セット油圧調整機構搭載による高いメンテナンス性と破碎困難物を自動排出する高い堅牢性が特長です。さらに破碎室形状の変更により当社比約20%の処理能力向上を実現しています。

当社は、今後も積極的に破碎やリサイクル技術の開発に努め、優れた製品の提供を通じて、資源循環型社会に貢献していきます。

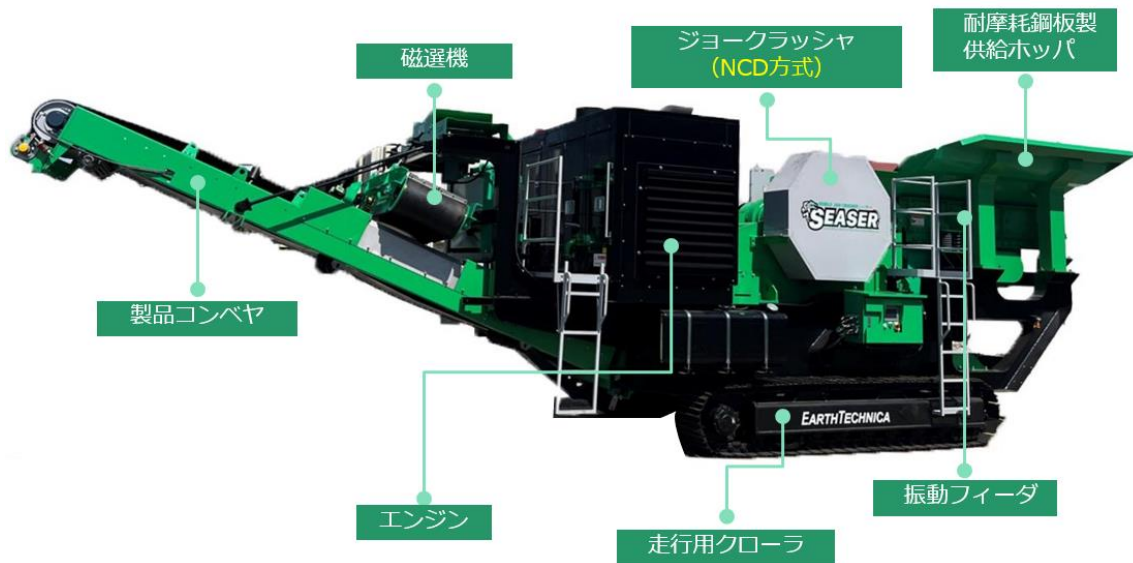
※1：ジョークラッチ

破碎対象物を2枚のプレートで圧縮することで破碎する破碎機

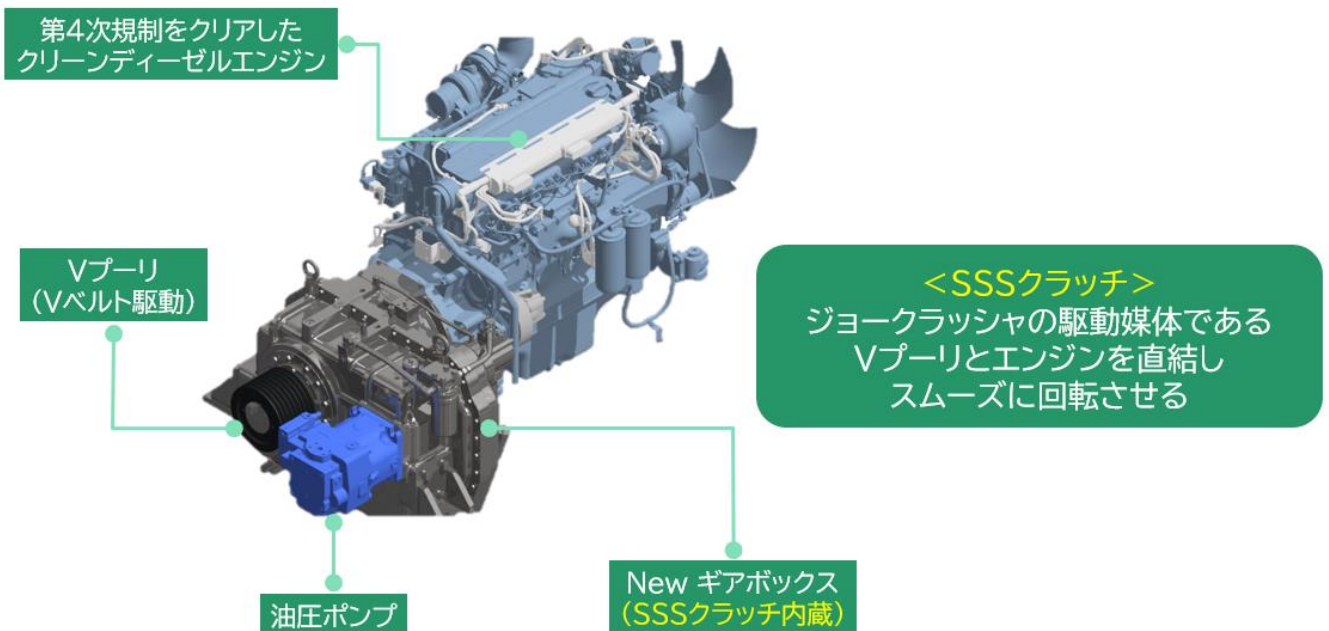
※2：SSSクラッチ

ジョークラッチの駆動媒体であるVプーリーとエンジンを直結、回転させるためのクラッチ

## 【「SEASER™」の詳細】



## 【主な特長】



### (1) NCD (Non-Conversion Drive) 方式

電動機や油圧モーターを使用せずに、エンジンの回転出力を直接伝達する駆動方式で、エンジン出力を油圧や電気に変換しないため、変換ロスが発生することなく高効率な運転が可能。

### (2) 処理能力の向上

ジョークラッシャの破碎室の形状を「V形」にすることで、原料のスムーズな破碎と排出を実現し、従来の「レ形」破碎室形状のジョークラッシャ搭載機に比べ、約20%の能力UPを実現。

### (3) 鉄筋等の破碎困難物の自動排出が可能

破碎機の稼働停止の原因となる鉄筋等の破碎困難物を検知し、自動排出して破碎を再開する機能を有しており、万が一、鉄筋が混入しても連続運転が可能。

【仕 様】

【SEASER™ (シーサー) ロゴ】

型 式	RXM136AC	
振動フィーダ	寸 法 駆 動 方 法	900×3,000mm 油圧モーター
ジョークラッシャ	供給口寸法 駆 動 方 法 セツ調整範囲(OSS)	920×540mm エンジン直結 40～120mm
製品コンベヤ	ベルト幅 排出高さ	900mm 2,800mm
走行用クローラ	幅 接地長さ	400mm 3,260mm
寸法	全 長 全 幅 全 高	12,500mm 2,900mm 3,500mm



■ご参考：株式会社アーステクニカ概要

- (1) 本社所在地 東京都千代田区神田神保町二丁目4番地
- (2) 代表者 代表取締役社長 西 昌彦
- (3) 設立年月日 2003年4月1日
- (4) 資本金 1,200百万円(川崎重工100%出資)
- (5) 事業内容 破碎機、粉碎機器、環境リサイクル機器設備、微粉碎機器、耐摩耗・耐熱等  
鋳造製品の設計、製造および販売
- (6) 従業員数 334人(2024年5月1日現在)

以上